

震災生活のエピソード募集

3がつ11にちをわすれないためにセンターから発信するインターネット番組「おやじストリームカフェ」では、地震や停電などによる、いつもとは異なる生活体験談を募集しております。みなさんから募集したエピソードは、番組で紹介し、将来に生かすために記録していきます。

この用紙にエピソードをご記入いただき、下記の方法のいずれかでご応募ください。

応募方法

- 1 『募集箱』に投函する。 せんだいメディアテーク2階カウンターに箱が設置してあります。
- 2 『メール』で送信する。 mail: wasuren@smt.city.sendai.jp
- 3 『ファックス』で送信する。 fax: 022-713-4482 ※裏表両面ありますのでご注意ください。

※メールとファックスは、「おやじストリーム係」までお送りください。

↓ご自由に記述してください。一部の項目のみの回答でも構いません。ご協力よろしく申し上げます。

1

震災直後から3日後までの**避難所**のエピソードを教えてください。
(なぜいったのか？そこでどんなことがあったのか？あの時あればよかったものは？など)

[例]

- ・人が多すぎて、横になれなかったけど、友達がいて心強かった。
- ・アルファ米のわかめご飯はおいしくなかったけど、〇〇〇が作ったチョコフォンデュがおいしかった。

2

次の震災に何か**備えていますか？**

[例]

- ・4月7日までは1Lの水を買っていたけれど、最近は・・・。
- ・備蓄していた電池を使い果たしてしまった。

3

食べ物や買い物にまつわるエピソードを教えてください。

[例]

- ・ヨウカンに水を入れてゆっくりと熱を通すとおしるこになり、飲むと体が温まります。(水はヨウカンの倍くらい)
- ・小さな商店のおやじが「閉店セールみたいに売れた。」と言っていた。

4

震災後、生活習慣で気にしなくなったことは？

[例]

- ・靴下を二日連続で履けるようになった。まだ寒い季節だから良かった。
- ・毎日風呂に入っていた息子が、三日間、体を洗わなくてもよくなった。

5

頼りになった、または、頼りにならなかった、知人や家族の行動は？

[例]

- ・おじいちゃんが孫をほっぽって、犬を抱いて家の外に逃げた。外に出てからそれに気がつき、孫を連れに戻った。

6

その他のエピソード（電気やガスが止まって困ったことなど）

[例]

- ・石油ストーブを背負って、原付で母の家に運んだ。

ペンネーム(ニックネーム)	職業	年齢	お住まいの市町村区 (例) 仙台市青葉区
---------------	----	----	----------------------

↑実名は記入しないでください。

※さしつかえない範囲でご記入ください。

おやしとリームカフェ

ぶっちゃけ!!! しんさいトーク ー地震・停電・家事・親父ー

毎月一回 放送中!

場所: せんだいメディアテーク 2階 わすれん! スタジオ (入場無料、直接会場へ)

地震や停電などによるいつもとは異なる生活体験について、ぶっちゃけトークを行います。エピソードを募集し、震災に負けない「親父の震災生活術」を観覧者とともに考えます。

マスター 尾崎行彦 (画家・版画家)

主 催 3がつ11にちをわすれないためにセンター

スタジオ観覧者募集中!

おやしとリーム
カフェ

café de Jacky


<http://recorder311.smt.jp/>

インターネット番組は、3がつ11にちをわすれないためにセンターのホームページでご視聴いただけます。



3がつ11にちをわすれないためにセンター

当センターでは、市民、専門家、スタッフが協働し、復旧・復興のプロセスを独自に発信、記録していきます。さまざまなメディアの活用を通じ、情報共有、復興推進に努めるとともに、収録された映像、写真、音声、テキストなどを「震災復興アーカイブ」として記録保存します。



お問い合わせ

せんだいメディアテーク 企画・活動支援室
〒980-0821 仙台市青葉区春日町 2-1

TEL: 022-713-4483 / FAX: 022-713-4482

E-mail: wasuren@smt.city.sendai.jp

Twitter/Ustream: @recorder311